

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



あつかし歴史館で「七夕まつり」を開催！

8月6日(日)に大木戸歴史むらづくりの会との連携で、あつかし歴史館「七夕まつり」を開催しました。

年中行事の七夕や星の観察をテーマとして、七夕の飾りつけやプラネタリウムなどの体験活動を行い、家族で楽しめるイベントとなりました。

150人以上の来場者で、会場は子どもたちの笑顔で賑わいました。



イベントに参加した伊東さんご家族

Interview —参加者の声—

チラシを見て来ました。初めてのプラネタリウムでした。ドームの中は真っ暗で、いろいろな星がたくさんで、楽しかったです。また参加したいです！



七夕の飾りつけ

願い事は叶うかな？お菓子のプレゼントもありました。



星座早見盤づくり

デコレーションをしてオリジナルの星座早見盤が完成しました。

メダカすくい

長蛇の列ができて、メダカに夢中になっていました。



花火

子どもたちの歓声が響き渡りました。



史跡阿津賀志山防塁 くにみ蓮まつり 2022

中尊寺蓮が見頃を迎える7月16日(日)から7月31日(日)にかけて、くにみ蓮まつり 2022 が開催されました。

期間中の土日祝日には、(一社)二重堀サポートネットワークの皆さんによる案内ガイドや、ミニマルシェなどが行われました。今年の蓮は、去年よりも早めに咲き始め、県内外から多くの方が訪れました。

土器づくり体験や草木染体験は好評でした。そのほか、蓮の葉を利用した蓮シャワーでは水を浴びる子どもたちも見受けられ、甲冑体験では、甲冑を着て防塁や蓮池で写真を撮ることもできました。

イベントを通じて、蓮の美しさや町の歴史を伝える機会となりました。



蓮と阿津賀志山防塁



甲冑体験



土器づくり体験



蓮シャワー

— Activity Report —

Vol. 25

地域おこし協力隊活動日記



岡野 希春
(Kiharu Okano)

桃の生育過程を楽しめる桃の木オーナー制度

こんにちは、地域おこし協力隊の岡野希春です。今回は私の活動内容についてお伝えします！

桃の木オーナー制度は、生育過程を楽しみながら収穫した桃を受け取ることができる取り組みです。今年は4月から75人のオーナーやその同伴者の方と摘みや袋掛けを行い、7月から3か月間で収穫体験を実施。延べ200人以上の方が国見町を訪れました。



▲複数人でシェアしている桃の木の前で



▲参加者は三世代や遠方オーナーの方も



▲甘くておいしい桃を試食しました

参加者からは「お花見会から大きく育った桃を間近で見られてとても良かった」「生産者の方々の努力を垣間見られ感謝です」といった声をいただきました。

オーナーの皆さんが複数回国見町に来ることで、自分の木に愛着がわき、農家さんとの関係性も深まっていると感じています。



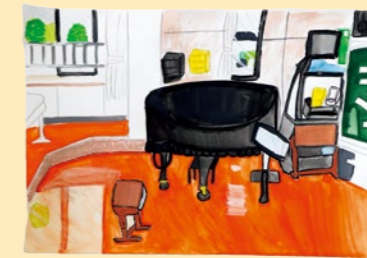
井砂 海志「ハチの樂」



松浦 由菜「花」



鍋島 維希「みんなのマイロ」



佐藤 寧音「思い出のある音楽室」

国見小学校 (6年生)

くにみ蓮まつり